

北海道地震 支援活動のご報告 Ver.04 (2018.Nov)

北海道胆振(いぶり)東部を襲った9月6日の地震から2カ月以上が経ちました。発災即日から緊急支援を開始したA-PADジャパンの活動について、ご支援いただいたみなさまにご報告いたします。



緊急支援物資の調達・配送

発災直後からニーズ調査を開始し、自治体や企業、パートナー NPO と協力しながら避難所や在宅避難者に緊急支援物資を届けました。



活動地



レスキュープロジェクト

発災即日、ヘリと専用航空機で土砂崩れによる被害が出ていた厚真町に入り、医師・看護師・救助犬とともに約3日間、捜索を続けました。



トレーラーの貸与

複数のトレーラーを被災地に運び、昼夜復旧・復興に動く行政や NPO に貸与。休憩スペースや事務所などとして利用されています。





Voice ～被災地からたくさんの声が届きました

「お風呂、楽しみ！」

「避難所も断水中。車もなく自力で風呂に行けなかったから助かる！」
—by避難所と温浴施設を結ぶ臨時巡回バスの利用者



「病院に必須のアイテムだから」

「医療用ゴム手袋は診療に必須。不足していたので助かりました！」
—by緊急支援物資を受け取った安平町の病院関係者



「探してくれてありがとう」

「ものすごい土砂くずれでした。親類がまだあの下にいるかもしれません」
—by行方不明者の親戚を探す厚真町すの男性

「給水袋、助かりました」

「断水で皆困っていました。水を配る容器がなかったから助かった！」
—by緊急支援物資の持ち運び用給水袋を受け取った避難所管理者

「ダウンは嬉しい！」

「極寒の冬が迫る中、寒さ対策のダウンジャケット、本当に助かります。みんな喜びます！」
—by厚真町の避難所スタッフ

「空飛ぶ医師団」より皆さまへ ご寄付のお礼とご報告

gcf/457

佐賀県「ふるさと納税」を通じたご寄付596万8,660円

(10月末時点、継続受付中～1月末まで)

A-PAD ジャパンの北海道緊急支援活動に対し、「ふるさと納税」(佐賀県 NPO 支援枠)を通じて、2018年10月末までに323人の方から5,968,660円のご寄付を頂戴しました。ご支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

佐賀大学の医師・看護師や救助犬などで構成されるA-PAD ジャパンの緊急チーム「空飛ぶ医師団」は、佐賀県のふるさと納税を通じた寄付など、多くの皆さまに支えられています。継続したご寄付が災害時に役立ちます。これからもよろしく願いいたします。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/457>

(期間：2018年11月1日～2019年1月31日)



A-PADジャパン

840-0831 佐賀県佐賀市松原1-3-5ゼロワン佐賀ビル6F Tel:0952-20-2900 toiawase@apadm.org
<http://a-padj.org/index.html>



<https://www.facebook.com/apadjapan/>